

光

明

妙智寺 寺報 3月 210号

「〇〇する」と「〇〇させてもらう」

ある旅人が、苦しい顔でレンガを積んでいる男に尋ねた。

「あなたは難しい顔で何をしているのですか？」

「見ればわかるだろ。レンガを積んでいるんだ。毎日毎日このレンガを積むだけ。腰も痛いし、手はこの通り。」

旅人は、普通の顔で淡々とレンガ積みをしている別の男に尋ねた。

「あなたは何をしているのですか？」

「何か建物を作っているんだよ。家族を養うためだから辛くはない。」

旅人は、楽しそうにレンガ積みをしている別の男に尋ねた。

「あなたは楽しそうに何をしているのですか？」

「みんなが礼拝する大寺院を建てているんだよ。みんなが幸せになる寺院を建ててるんだから、すごいだろ！！」

私たちの行いに目的意識を持ち、大いなる意義と功德を感じて、「させてもらう」ことが出来たとき、ストレスもなく元気で、周りにまで良い影響を及ぼすことでしょう。さあ、どのような気持ちで行いますか。

春彼岸 大施餓鬼会

3月 22日（日） 午後2時

塔婆を立てるということは、先祖や大事な人、もう一度会いたい人が「蘇る」とき「いのち」頂いたご先祖さまに恩返し。亡人も私も「蘇り」